

1990～91年

年 次 報 告

平成2～平成3年度



横浜緑ロータリークラブ

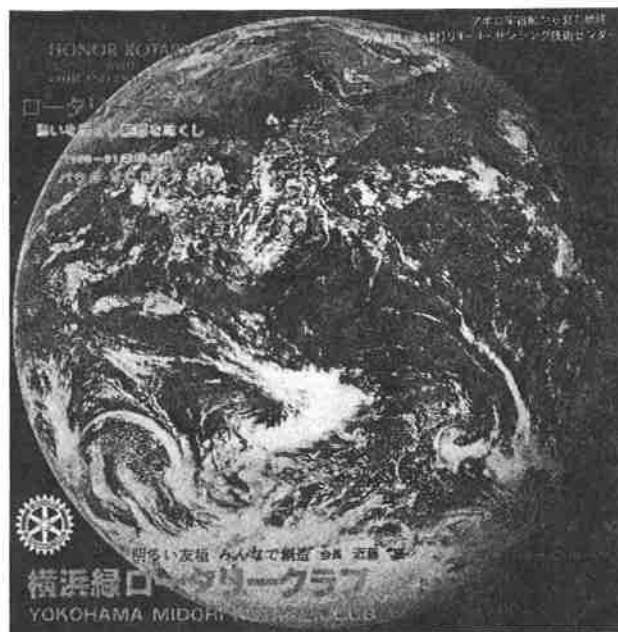
HONOR ROTARY
WITH
FAITH AND ENTHUSIASM

ロータリーを高めよ

思いを尽くし熱意を尽くし

1990～91年度 国際ロータリー会長
パウロ V.C. コスタ

第259地区 鶴川 昇 ガバナー



明るい友垣 みんなで創造

横浜緑ロータリークラブ
会長 近 藤 襄

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	3
活 動 報 告 書	8
クラブ奉仕担当理事報告	19
出席委員会報告	20
職業分類委員会報告	21
親睦活動委員会報告	22
雑誌委員会報告	23
会報委員会報告	23
会員選考委員会報告	24
会員増強委員会報告	24
プログラム委員会報告	25
ロータリー情報委員会報告	28
広報委員会報告	28
S・A・A報告	29
社会奉仕委員会報告	29
青少年委員会報告	31
インターアクト委員会報告	32
ローターアクト委員会報告	33
職業奉仕委員会報告	34
国際奉仕委員会報告	34
ロータリー財団委員会報告	36
米山奨学委員会報告	38
ポリオプラス委員会報告	39
会 計 報 告	40
横浜緑ロータリークラブ組織表	44
備 品 目 録	45
充填・未充填職業分類表	46

会 長 報 告

会 長 近 藤 襄

この一年間、私を補佐して下さった渡辺幹事、そして理事、委員長、委員、クラブ全員の皆様、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。又地区役員の方々もご苦労様でした。

本年度はクラブ創立21年目に巡って来た鶴川ガバナーの誕生で、責任クラブとしての役割を数多く担うことになり、例年に比べ忙しい年でありました。昨年春、クラブ役員の決定に当たっても有能な先輩格の会員は早々地区役員に決まり、退会者も相当数出たこともあって、中堅の方々を中心に比較的新しい方にも入って頂き、新しい会員と共に前2代の会長さん方が味わった不協和音をなくし、年度はじめからの大きな事業を全うすべく努力致しました。

さて、今年度1年をふり返ってみますと、2つの大きな試練がありました。その1つは前半の地区大会のホスト役、もう1つは後半の拡大でありました。9月28、29日に行なわれた地区大会のホストはクラブにとって初めての経験でありましたが、以前より予定されたもので時間もかけ準備していましたので、流れの中で多少の軋轢はありましたが山下実行委員長、名倉副委員長のご努力のもとクラブ全員の参加とご夫人方のご協力、そして桐蔭学園のバックアップも頂き無事大任を果たすことが出来ました。この大会運営を通じ、会員各位がロータリーをより一層勉強することが出来、又会員間の友情も一段と深まり苦労の多かった反面、クラブ再建のよい機会にもなりクラブの歴史に残るイベントでありました。

一方、後半の拡大は私にとって極めてきびしい仕事でありました。鶴川ガバナーは公式訪問が終ると拡大に大変な意欲を示し、全国で最も少ない会員数、そしてクラブの数を改善しようと地区に巾広く呼びかけ、当クラブにも再三の要請がありました。然し拡大の必要性は分かってもいざ実行となるとなかなか踏み切れず先送りしていましたが、遂にガバナーの情熱に敗け、4月17日実行が決定、諸般の事情で私が特別代表の指名を受け、早速準備委員会を組織し、懸命な努力でガバナーの希望する期限に新会員を集め、31名のチャーターメンバーで新横浜ロータリークラブを結成、5月28日創立総会を開催いたしました。これもクラブの皆様の深いご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

奉仕活動としては、社会奉仕委員会が継続事業で行なっている緑区肢体不自由児父母の会の一泊研修旅行に会員有志とご家族、そして上林会員の病院看護婦さんのご参加もあり、バザーの売上金の寄附と共に身を以て地域に奉仕する活動が認められ、地区協議会に於て国際ロータリーより今年度の「意義ある業績賞」をいただきました。又三保の四季の森公園に鉄製ベンチ3脚の寄贈、緑区視力障害者を世話するボランティア婦人の会「かもめ」に、カセットテープのコピー機を寄贈、緑区長より感謝状を区長室で地元新聞社立合いのもといただきました。その他、米山記念奨学会寄付優秀クラブ第1位、

ロータリー財団寄附20,000%達成クラブの表彰も地区大会、地区協議会に於て受けました。これらの業績は、緑ロータリークラブが20年の歴史の中で立派に奉仕を実践し、又継続しているかを物語るものであり、クラブの誇りであります。

その他の委員会も活発な活動をして頂き、クラブのチームワークも整い次期幸内会長にバトンタッチさせて頂くことが出来ました。御礼申し上げます。

最後に、緑ロータリーの会員数は6月末日で51名、今期好井さんのご不幸、又数名の退会者がありましたが入会者もあり、スタートの時点とほぼ同数になり、5名程度の増員は消えてしまいました。その上、今期を以て退会される吉田さんもあり、病氣長欠者、そして出席免除会員も6名になったことを考え、来期は是非増強に力を入れて頂きたいと思います。

幹 事 報 告

幹 事 渡 辺 宏 未

副幹事 田 中 克 己

クラブの概況

名 称	横浜緑ロータリークラブ		
地 域	横浜市緑区	人 口	432, 523人
		世帯数	153, 910世帯（7.1日現在）
事 務 所	横浜市緑区中山町230	横浜銀行中山支店内	
例 会 場	同 上		
例 会 日	毎週水曜日	12:30～13:30	
創 立	昭和45年 2月28日	（スポンサークラブ 横浜港北 RC）	
	昭和45年 3月11日	RI の正式加盟承認	
		特別代表 山 崎 卯 一	
	昭和45年 12月13日	認証状伝達式 4クラブ合同	
		（於 横浜市文化体育館）	
	昭和53年 5月27日	横浜田園 RC 創立総会	
		於 三井銀行青葉第支店	
		（移籍会員4名）	
	昭和52年 11月23日	桐蔭学園高校インターアクトクラブ	
		認証状伝達式挙行（於 桐蔭学園）	
	昭和55年 11月23日	桐蔭学園高専ローターアクトクラブ	
		創立総会（於 桐蔭学園）	
	昭和59年 3月27日	横浜たま RC 創立総会	
		於 和光証券（移籍会員5名）	
付 記	所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。		
	昭和52年7月より RI の地区変更により第259地区となりました。		

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員 34名

シニア・アクティブ会員 17名

計51名 (内 チャーターメンバー 5名)

(2) 年 令

30才台～	2名	最高年令	82才
40才台～	8名	最低年令	37才
50才台～	22名	平 均	56.9才
60才台～	15名		
70才以上	4名		

現会員で当クラブ会員としての在籍数

1 年未満	5名		
1 ～ 3年	17名	平 均	7.9年
4 ～ 6年	9名		
7 ～ 9年	2名		
10年以上	18名		

2. 例会来客数

例 回 数 48回

来 客 数 ゲスト及ビジターの合計数 115名
(内ゲスト 58名)

月	例 会 数	来客数・ゲスト	月	例 会 数	来客数・ゲスト
7	4	9 (5)	2	4	6 (2)
8	4	4 (1)	3	4	10 (7)
9	4	8 (1)	4	4	7 (2)
10	4	24 (18)	5	5	8 (1)
11	4	14 (6)	6	4	12 (1)
12	3	8 (2)			
1	4			48	115 (58)

() 内はゲスト数

〔入 会 者〕

佐 川 孝 信 君	平成 2年 7月25日	地 方 銀 行
市 瀬 栄 一 君	平成 2年11月 7日	建築リフォーム
平 野 六 郎 君	平成 2年12月 5日	給 食
松 尾 一 伸 君	平成 3年 3月 6日	電 話 事 業
夏 目 一 夫 君	平成 3年 4月 3日	麻 酔 科 医

〔退 会 者〕

佐 藤 英 治 君	平成 2年 7月25日	転 勤
赤 柄 忠 昭 君	平成 2年12月31日	職 務 多 忙
折 田 啓一郎 君	平成 3年 1月31日	転 勤
好 井 良 雄 君	平成 3年 3月17日	御 逝 去
三 浦 澄 好 君	平成 3年 4月17日	職 務 多 忙

〔歴代会長・幹事及会員数,出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年6月迄
昭和45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	98.40%	
49～50	鶴 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%	

59～60	戸田 裕也	寺崎 誠三	45名	96.31%
60～61	田沼 文衛	岩岡 正	45名	96.27%
61～62	中林 靖	赤柄 忠昭	50名	97.83%
62～63	内野 晃	藪島 五郎	51名	96.96%
63～64(平成1)	代々木 和男	遠藤 真作	53名	95.65%
平成1～2	藪島 五郎	幸内 伸雄	47名	94.68%
〃 2～3	近藤 襄	渡辺 宏未	51名	94.54%

〔チャーターメンバー〕 現会員 5名

秋田 茂	昭55. 2. 20死去	足立 英一	昭46. 9. 1退会
石川 浩道	昭52. 6. 30退会	麻生 和衛	昭54. 12. 26退会
岩崎 董正	昭57. 6. 30退会	藤森 茂	昭47. 4. 5退会
小林 安雄		浜田 淳太郎	昭48. 1. 31退会
小峰 政博	昭48. 10. 20退会 相模原南RCへ	細辻 文次	昭47. 6. 28退会
中山 恒三郎	昭60. 4. 24退会	岩本 正三	昭63. 7. 11死去
柴田 清	昭48. 4. 4退会	松田 三郎	昭47. 6. 7退会
鈴木 憲一	昭54. 9. 1死去	三橋 英一	
土志田 昭吉	昭54. 8. 29退会	名倉 健二	
岡本 健		富永 力	平 1. 12. 30退会
志田 宝	昭47. 1. 29退会	鶴川 昇	
高橋 正文	昭50. 6. 26退会	吉田 晴太郎	昭48. 5. 2退会

〔本年度地区役員〕

鶴川 昇 君	地区ガバナー
三澤 君夫 君	地区幹事
中林 靖 君	地区副幹事
小杉 隆 君	〃
田中 克己 君	〃
内野 晃 君	〃
藪島 五郎 君	地区資金委員長
山下 栄蔵 君	地区大会実行委員長

金 子 朝 夫 君 地区大会幹事

名 倉 健 二 君 地区ボランティア,プログラム委員

[地区大会表彰] 田 沼 文 衛 君 米山功労クラブ 会員(米山奨学会寄附優秀クラブ)

活 動 報 告 書

幹 事 渡 辺 宏 未

副幹事 田 中 克 己

親睦を深めるクラブを提唱して、伝統ある当クラブの組織運営に当って、「明るい友垣、みんなで創造」と言うターゲットを近藤裏会長は掲げられました。ロータリーの活動は活発にやりたいが、友情を失ってまでの活動はしたくない言うことでした。幹事として、会長の指針を忠実に行動することを心掛け、自分なりに一生懸命やらしてもらいましたが、自分自身の無力さが為せる業で思う様にいかず、会長に大変ご迷惑をお掛けした次第であります。

分かり易い活動、一人一人が必ず一つの活動することをモットーに前々に計画を綿密に立てることでした。計画はクラブ協議会で練り、理事会の承認を受け、会報によって、会員に前もって理解して戴くことを一つの方程式としました。活動意識の高揚の為、また、当クラブを理解して戴く為、誰でもが、クラブのことなら皆が一緒に知っている様に、クラブ協議会は年度以前の3月14日、5月30日に開催し、活動計画書と会員名簿は7月には会員に配布することが出来ました。クラブ協議会は7回開催致しました、そのうち一回はガバナーの公式訪問の日でした。理事会は臨時理事会2回を含めて14回開催致し、その記録は全て、48回発行された会報に記載致しました。

年次総会を12月5日に開催、次期理事、役員を決め、4月17日には臨時総会を開催しアディショナルクラブの設立について承認を受け、新横浜クラブの設立に会長を特別代表とする12名による準備委員会を結成、5月28日に新クラブの創立総会を開催することが出来ました。一年を通して、各委員会の活動は活発でありました。米山奨学委員会は、259地区の募金額1位でガバナー表彰を受け、社会奉仕委員会での数年来の継続して行っている福祉ボランティアに対して、横浜市社会福祉協議会より感謝状が贈られました。また、緑区長よりの要請で、視覚障害者のためのダビングの機器を贈呈することを広報委員会が扱い、緑区長より、感謝状を戴きました。

これら総合して、その活躍に恥じない、ロータリークラブ、最高の荣誉である「意義ある業績賞」が贈られました。活動に伴う金銭的負担の多い一年であったと思います。一会員当りの金銭的負担額は45万円位になったと思います。また、地区大会の開催、新クラブの設立と言う大きなイベントがこの期にあり、会長の心労も多々あり、また、会員の皆様も例年にない活動を余儀なくされ、大変苦労されたと思います。その活動のなかで、地域に於て信頼を高め、品性の高いロータリアン生活が営まれたと評価されても良いと思います。永い様で短かったこの一年、会員皆様には惜しみないご指導、ご協力を戴き本当に有難うございました。

新横浜ロータリークラブの設立

経 過 報 告

平成3年

- | | | |
|------|---|--|
| 4月3日 | 例会にて「新クラブ設立について」フォーラムを行なう
前向きに検討することとなる | 5月17日、横浜田園ロータリークラブより承認、会長、幹事よりサインを頂戴する |
| 15日 | 臨時理事会開催「準備委員会の組織と人選について」会長、幹事に一任される | 5月8日 第三回準備委員会開催
創立会員候補者名簿作成について
創立総会について |
| 17日 | 臨時総会開催、新クラブ設立（アディショナルクラブ）設立について
全員一致で可決される | 会場の設営について |
| 17日 | 第一回準備委員会開催
定款、細則について検討、趣意書の作成、委員の役割分担、選考基準の取り決め等 | 15日 第四回準備委員会開催
創立会員の増強、創立会員との顔合わせ説明会について |
| 18日 | 特別代表 近藤 襄、拡大補佐 渡辺 宏未、幸内伸雄が鶴川 昇ガバナーより委嘱される | 21日 仮例会の開催
創立会員候補者 35 名出席、「ロータリーについて」説明会 |
| 20日 | クラブ会員に、創立会員推薦を郵送にて依頼 | 22日 第五回準備委員会開催
創立総会次第、役員の構成について、準備委員に一任される |
| 5月1日 | 第二回準備委員会開催
アディショナルクラブ結成の承認書、新クラブ設立に関する合意書の作成、その他 | 24日 準備委員と役員候補者と打合わせ会
「創立総会の進行と役割」について |
| | 5月7日、横浜たまロータリークラブより承認、会長、幹事よりサインを頂戴する | 28日 創立総会
創立会員30名、来賓24名、スポンサークラブ13名、出席予定 |
- 鶴川ガバナーにはお忙しい中、準備委員会、説明会にはご臨席賜り、また、準備委員も時にお伺いして、ご示唆頂き、その上多くの創立会員を推薦頂きました。

理 事 会 議 事 録

第一回理事会

7月11日(水曜日) 1時45分より例会場にて

出席者 近 藤 襄 幸 内 伸 雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一 渡 辺 宏 未
折 田 啓一郎 (長 沼 博)

議 題

1. 今年度会計について
スマイル収入を150万円とするため、1会員2万円の金額を年会費のなかに徴収するスマイルだけでなく、ニガニガもいれてもらう。
2. 夜間例会及び例会休日について
休 会 日 8/15 12/26
祭 日 10/10 1/2 (4回)
夜間例会 8/29 10/31 11/14 12/19 (クリスマス会) とする
1/26 1/30 2/13 3/13 4/10 5/29 6/12期末 (11回)
3. クラブ・アッセンブリーについて
クラブ活動計画書が来週中に出来るので7/18にクラブ・アッセンブリーを行なう。
4. 神奈川県緑化推進委員会の賛助金について
承認 ¥20,000
5. 会長選出について
前任会長、現会長、副会長と2,3人のパスト会長で選び、理事会で推薦する。
6. その他
 - 1.) 新会員 佐川孝信氏を承認
 - 2.) 長欠会員に現状の報告の依頼。手紙を出す。

第二回理事会

8月8日(水曜日) 午後1時45分より例会場にて

出席者 近 藤 襄 幸 内 伸 雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一 渡 辺 宏 未
(田 中 克 己) 折 田 啓一郎 (赤 柄 忠 昭) 佐 川 孝 信
(長 沼 博)

議 題

1. 9月26日(水)の例会休会とし、9月28日(金)を地区大会の予行演習の日として、全員出席する。

9月26日 P.M.5:30に変更する。(移動例会) 2:30集合 3:00会費

28日の例会は予行演習といっしょにはむづかしい。

2. 地区大会当日ご夫人の参加督励する。

夫人の出席を依頼。全員でムードをたかめる

3. 8月29日(水) 例会は夜間例会とし、P.M.7:00より「浜太郎」にて、会費8,000円で行なう。

4. その他

8/22～8/23 ボランティア参加者はメイキャップ扱いする。

第三回理事会

9月5日(水曜日) 午後1時45分より 例会場にて

出席者	近 藤 豊	幸 内 伸 雄	岡 本 健	斎 藤 宏 一
	横 井 好 明	二 宮 浩	小 林 新 一	渡 辺 宏 未
	(田 中 克 己)	折 田 啓 一 郎	(赤 柄 忠 昭)	佐 川 孝 信
	(長 沼 博)			

[大会役員] 山 下 栄 蔵 金 子 朝 夫 名 倉 健 二 藪 島 五 郎

議 題

1. 緑区少年野球連盟15周年記念招待について

青少年委員長

9月29日(土) 18:00 新横浜ホテルにて 幸内副会長、横井青少年委員長、出席

9月15日 9:30 長坂スポーツランド " "

2. 姉妹クラブ大邱松林クラブとの、交流復活依頼について(審議)

大邱松林 R.C 張 智 植 氏

703-047 大韓民国大邱市西区飛山ク洞1610-7 大邱松林 Rotary Club

3. 意義ある業績賞について

締切 9月29日

福祉ボランティアについて斉藤社会奉仕委員長からガバナー宛に報告書を提出する。

4. 19日 クラブ協議会の開催について

10、11、12月分の各委員会の活動計画を、具体的に報告してもらう。

5. 26日 移動例会について

12:30 鏡とたすきを持っていく(折田) @1,500 6万円

40人（ガバナー事務所で乙守氏と打合せ） 973-7631

6. 地区大会について

新しい会員の夫人に強制的に参加してもらう。（山下）

（一）大会幹事より

（二）夫人の出席について

集合場所 控室

時 間 29日11:30～6:00 30日11:30～8:00 原則として最後まで

服 装 自由 欠席の人ニガニガ 4,000.-

役 割 お迎え、服章つけ（元会長夫人）主に接待役

7. 9月9日ローターアクトの日、その他青少年月間について

連絡がつかず止むを得ず不参加

森ローターアクト委員長より報告

8. 11月3日 中山商栄会まつりに参加する肢体不自由児の会の支援について

9. その他

9/29 会長幹事会 8:30～9:30 登録 9:20～12:10

9/21 職業奉仕委員長 14:00～16:00 ソシア 21 二宮浩

第四回理事会

10月17日（水曜日） 午後5時～5時30分 新横浜国際ホテル

出席者 近 藤 襄 幸 内 伸 雄 横 井 好 明 二 宮 浩
小 林 新 一 渡 辺 宏 未 折 田 啓一郎 （赤 柄 忠 昭）
（長 沼 博）

議 題

1. 違法駐車追放宣言について

10月31日 例会職業奉仕委員会 朝日エコーを

2. 中山まつりバザー協賛について

6月23日 商協事務所にて 7:00より打合せ

3. 炉辺会合の出席者推進について

11月24日 高島会員宅にてロータリー情報委員会

4. ガバナー公式訪問に伴うクラブ協議会のテーマ等設定について

11月21日 例会日 10:30～12:30クラブ協議会

5. 11月10日（土）第277、257地区インターアクト委員会の桐蔭学園見学について

インターアクト委員会顧問教師及びロータリアン24名当日インターアクト委員全員参加

6. 11月20日(火) GSE 交換学生受け入れについて
国際奉仕委員会 分担金会員1人@2,000- 9:10 新横浜国際ホテル
7. その他
山下会員が黄授褒賞の報告
泉ロータリークラブチャーターナイトの参加の件

第五回理事会

11月7日(水曜日) 13:45~14:30横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近藤 襄 幸内 伸雄 岡本 健 斎藤 宏一
横井 好明 二宮 浩 小林 新一 渡辺 宏未
折田 啓一郎 (赤柄 忠昭) 佐川 孝信 (長沼 博)

議 題

1. 11月10(土)11日(日) ローターアクト年次大会 よみうりランド会館
脇田 斎藤 森
2. 11月10日(土) 第277、257地区インターアクト委員会の桐蔭学園見学について
横井 遠藤
3. GSE 受入協力金 10万~15万について
15万円振込む
4. 11月10日 泉ロータリークラブ認証状伝達について
新会員の登録 近藤 幸内
5. ガバナー公式訪問について
「4ヶ月活動報告とその問題点、今後の活動計画について」
(記念品代 15,000円 車代 5,000円 運転手3,000円)
AM 9:20~9:30 分区代理打合せ
AM 9:30~10:30 会長幹事懇談
AM 10:30~12:30 クラブ協議会
AM 12:30~13:30 例会 ガバナーによる卓話
6. 11月29日 ゴルフコンペ 相模原ゴルフクラブ
20名
7. 12月5日 次期役員候補者の承認の総会開催について
議題 1.理事承認について 次期会長 幸内氏 次期副会長 遠藤氏を候補とする
総会通知 21日までに出す。
8. 12月19日 クリスマス家族会 横浜プリンスホテル

11/28日に下見検討する 費用について

9. その他

「ようこそロータリーへ」江北ロータリー編

「李方子追悼募金」 1,000円

第六回理事会

12月5日(水曜日) 13:45~14:30横浜銀行中山支店3階会議室

出席者	近藤 襄	幸内 伸雄	岡本 健	斎藤 宏一
	横井 好明	二宮 浩	小林 新一	渡辺 宏未
	折田 啓一郎	(赤柄 忠昭)	佐川 孝信	(長沼 博)

議 題

1. 年会費後期分 ¥125,000.-の納入方について
12月例会にて請求依頼する
2. 前期会費の未納分について 年会費¥125,000.-
フィリピン義援金 1,000.- イラン義援金500.-
中国、日本語教師派遣500.- ハンセン氏病1,000.-
地区大会夫人出席について4,000.- 赤い羽500.-
SE 分担金2,000.- 李方子追悼募金1,000.- 計 10,500円
国際奉仕委員長に募金依頼
3. 四季の森ベンチの設置についての寄附金の依頼 ¥5,000-以上
3,4人用ベンチ 2基 @15万 30万
4. 慶弔規定について
一等親以内 会長名の生花一對
5. ガバナー公式訪問反省
 - 1) 出席について
 - 2) クラブアッセンブリー原稿について
 - 3) その他
6. クリスマス家族会について
7. 横浜市福祉大会に於て、感謝状受授について
8. その他
I.Mについて(横井) 福祉広告について 夜間例会について

第七回理事会

平成3年1月9日(水曜日) 13:30~14:00横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近藤 豊 幸内 伸雄 岡本 健 斎藤 宏一
横井 好明 二宮 浩 小林 新一 渡辺 宏未
折田 啓一郎 (赤柄 忠昭) 佐川 孝信 (長沼 博)

議 題

1. R.I会長歓迎会(2月4日16:30ホリディーインにて)出席者の依頼について
幸内 近藤 三沢 中林 渡辺 田中(克) 藪島 小林(新)
2. I.M(2月9日(土)12:30登録)について すし 12日
3. 12月19日クリスマス家族会報告
96名の参加 費用 2,046,000 1,172,000+215,000 <ニコニコ>
会費43名 家族41名 留学生10人 奨学生2人
4. 赤柄会員退会について
5. その他
6. インターアクト認証状伝達式 1/27(日) 1:30
7. 意義ある業績賞
1/16 事務退職 吉澤とし江
新任 柏木郁子

第八回理事会

平成3年2月6日(水曜日) 13:45~横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近藤 豊 幸内 伸雄 岡本 健 斎藤 宏一
横井 好明 二宮 浩 小林 新一 渡辺 宏未
井上 周輔 (加藤 喜夫) 佐川 孝信 (長沼 博)

議 題

1. 2月9日IMの参加について
督励した
2. 2月13日 夜間例会開催について
浜新 15,000.-
3. 2月27日 職場見学について 聖マリアンナ西部病院 12:00
2月27日 家族集会について 代々木会員宅にて 3,000.-
4. 会員拡大について
港北ニュータウン地区拡大協議会(総会)拡大協議会の設立に対して努力する

拡大委員会

5. 三クラブ合同コンペの日時が変更 3/18→4/18変更
6. その他
 - a シンポジウム日本と中国の市民交流を考える。2月27日 1:30の参加方
 - b プロサッカーのフランチャイズを招致する会 入会の件 入会する
 - c 米山奨学生李 東熙のカウンセラーについて 世話人 森 善助会員にお願いする
 - d 折田会員の退会に伴い、松尾会員の入会について承認 松尾一伸氏を承認

第九回理事会

平成3年3月6日(水曜日) 13:45～横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近 藤 襄 幸内 伸雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一 渡 辺 宏 未
井 上 周 輔 (加 藤 喜 夫) 佐 川 孝 信 (長 沼 博)

議 題

1. 3月19日(火) 山下会員黄援褒章受賞記念祝賀会について
各自 20,000.- 生花 1基
2. 3月25日(月) 東京多摩グリーンロータリークラブ認証状伝達式について
横井、長沼会員が出席
3. 3月27日(水) 第6回クラブアッセンブリーについて
「下四半期の活動について」 4、5、6月の活動計画とプログラムの見直し
4. 4月10日(水) 家族会開催について
「ポートヒル横浜にて夜桜見物」
5. 4月14日(日) 福祉バザーの後援について
「緑区社会福祉協議会・緑区肢体不自由児父母の会」
6. 4月11日(水)～13日(土) ライラの参加について
金子会員の事業所から一名出していただく
7. その他 湾岸戦争にかかわる救援活動について
入会希望者 夏目一夫 45才 医師

第十回理事会(臨時)

平成3年3月20日(水曜日) 13:45～横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近 藤 襄 幸内 伸雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一 渡 辺 宏 未
井 上 周 輔 (加 藤 喜 夫) 佐 川 孝 信 (長 沼 博)

松 田 税 代々木 和 男 小 林 新 一

議 題

1. 拡大について
特別代表 1名 副代表 2名 準備委員会 数名の候補者選考指名
会長に一任にする 幹事に一任にする
2. 緑区長より依頼のダビング機器の寄附について
資金か品物 11時に区役所に打合せする
会員1万円の寄附 役員2万円 福祉バザーの売上げより捻出 一葉書で依頼する
3. 地区協議会について
会場実行委員会の指名、交通副委員長 1名、交通委員 9名の指名
長沼、幸内次期会長に一任
4. 地区協議会出席義務者の選考指名について
幸内次期会長に一任
5. みどり新聞20周年記念誌広告の依頼について
10万円の広告
6. その他

第十一回理事会

平成3年5月11日(水曜日) 13:40～横浜銀行中山支店3階会議室

出席者 近 藤 襄 幸 内 伸 雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一 渡 辺 宏 未
井 上 周 輔 (加 藤 喜 夫) 佐 川 孝 信 (長 沼 博)

議 題

1. アディショナルクラブ設立に伴う準備資金の徴収方法について
(今年度、一会員当り 3万円 来年度、一会員当り 3万円)
2. 5月12日(日)地区協議会について
出席義務者 幸内、横井、遠藤(真)、渡辺、二宮、森(実)、斉藤、島田、田中(克)
市ノ瀬、平野、松尾、脇田、吉田 14名
交 通 長沼、井上、関口、黒沼、遠藤(一)、日高、小俣、田中(克)、加藤、
金子 10名
意義ある業績賞 授賞 近藤襄 12日 3:00頃 渡辺幹事
3. 6月12日(水) 期末懇親会開催について
6/12 ゴルフ大会 熱海国際ゴルフクラブ 熱海コース in 9:30スタート

例会 17:30 熱海さくらや 会費30,000.-

4. 家族集会（第3回）について

5/22 会長宅予定

5. その他

① ローターアクトについて

高専主体のクラブを廃止し新規に桐蔭横浜大学ローターアクトを設立する

② 矢島誠治会員の出席免除について（公職多忙につき出席義務免除）

第十二回理事会（新旧合同理事会）

平成3年6月5日（水曜日）13:40～横浜銀行中山支店3階会議室

出席者	近藤 襄	幸内 伸雄	岡本 健	斎藤 宏一
	横井 好明	二宮 浩	小林 新一	渡辺 宏未
	井上周輔	（加藤 喜夫）	佐川 孝信	（長沼 博）
	次年度理事	遠藤 真作	代々木 和男	森 実
	SAA	日高 信良		

議 題

1. 新クラブ、新横浜ロータリークラブの認証伝達式について

6/30 あさみクラブと合同チャーターナイトを開催の要請－鶴川ガバナー

2. 期末懇親会について

出席者 36名

3. 今年度活動報告書の提出依頼について

4. その他

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 幸 内 伸 雄

鶴川ガバナー就任に伴い年度前半は総ての日程が9月29日、30日の259地区大会に向けて動いたと云って過言ではないと思います。

地区役員6名その他委員として殆どがその成功を期して活動した3ヶ月でした。

以下その様な中での各委員会活動の概要を報告します。

- ① SAAは折田、赤柄両正、副会員が途中で退会された後を井上、加藤（喜）会員がよく継いで頂き、従来の禁煙例会から、食後の一服コーナーを設けました。
- ② 出席は91%を達成出来たと思います。
- ③ 職業分類は前年度と変わりありません。
- ④ 親睦委員会は7月を除き毎月移動例会を催し、その数11回で、会員相互の親睦に努めました。
- ⑤ 雑誌については名倉委員長より毎号よく解説をうけ、又読む必要性を強調されました。
- ⑥ 会報については脇田委員長の他は地区役員等が多く、その労は大きかったと思います。
- ⑦ 選考及び増強については結果として、5名入会6名退会となりました。
- ⑧ ロータリー情報は代々木、高島会員宅で家族集会をそれぞれ開き懇親を深めた。
- ⑨ 広報委員会は緑区長室にて、視覚障害者が必要とする録音テープを作成するボランティア団体「朗読録音奉仕会かもめ」にハイスピードカセットテープコピーマシンの贈与について、地方紙2紙に照会し、記事を掲載PRに努めた。

以上活発な活動をそれぞれ行われたと思います。

出席委員会報告

委員長 島田 幸夫

副委員長 松田 税

委員 渡辺 清

- (1) 出席率の向上は、「先ず親睦」という事で今年度は夜間例会を第5週の水曜日に行なうことに致しました。その為か会員相互の親睦を計る機会が多くなり例会出席率の向上にもつながった様に思われます。
- (2) ホームクラブ100%出席をするという事は非常に大変な事です。それにもかかわらずホームクラブ100%の出席の方が1名おられました。敬意を表する意味で金子会員に記念品を贈呈致しました。
- (3) メークアップの扱いに関しては会員諸氏のロータリーに対する理解度が深まったせいか徹底されて来た様に思われます。

出席報告1990～1991（平成2年～平成3年）

	例会数	出席率(%)	会 員 数				
			7 月 末 日	年 初 (7/1)	入 会 者	退 会 者	増 減
7月	4	96.31	51	51	1	1	0
8月	4	96.15	51	61	1	1	0
9月	4	99.38	51	51	1	1	0
10月	4	31.25	51	51	1	1	0
11月	4	93.29	52	51	2	1	+1
12月	3	95.24	52	51	3	2	+1
1月	4	96.95	51	51	3	3	0
2月	4	96.88	51	51	3	3	0
3月	4	89.63	51	51	4	4	0
4月	4	89.88	51	51	5	5	0
5月	5	98.50	51	51	5	5	0
6月	4	95.00	51	51	5	5	0
	48	平均94.54					

本年度個人100%出席者並びに連続100%の会員は下記の通りです。

○…本年度 100%

◎…ホームクラブ 100%

数字は連続年数

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
遠 藤	0	○	1	田中(克)	4	○	5
日 高	1	○	2	内 野	3	○	4
上 林	1	○	2	鶴 川	20	○	21
金 子	2	◎	3	脇 田	0	○	1
幸 内		○	1	渡辺(宏)	2	○	3
近 藤	6	○	7	藪 島		○	1
小 杉	5	○	6	山 下		○	1
三 沢	16	○	17	佐 川	入会以来	○	
森 (実)		○	1	市 瀬	〃	○	
中 林	17	○	18	平 野	〃	○	
二 宮	1	○	2	松 尾	〃	○	
斉 藤	4	○	5	夏 目	〃	○	
島 田		○	1				

職業分類委員会報告

委員長 田 沼 文 衛

副委員長 ②岡 本 健

委 員 ③小 林 安 雄

前期において、会員の約5分の1が退会・入会と入替えがあった。期当初において、その職業分類表を作成し、未充填となっている分類より逐次充填する。そのため関連委員会と協力して活動を進めた。又会員増強に伴う新会員候補者に適合する開放分類の新設も行った。

親睦活動委員会報告

委員長 金子朝夫

副委員長 高嶋経保

委員 長沼博 井上周輔 堀井基章
関口将実 黒沼正雄 加藤喜夫
吉田篤正 飯田重雄 渡辺清
(好井良雄)

9月29日(土)～30日(日)の地区大会のホストクラブとして、全員協力のもと盛会裡に終了した事
は大変喜ばしい事と思います。又、親睦の実をあげるべく毎月の夜間例会を催し会員相互の話し合いの
場を多く設け12月19日のクリスマス家族会には90%、6月12日の期末懇親会には74%の多数の参加を得
て盛大に開催出来ました事をみましても初期の目的は達成出来たものと、御協力感謝致します。

今期活動(懇親会)以下の通りです。

平成2年	8月29日(水)	夜間例会	浜太郎にて	参加者	32名
	10月17日(水)	地区大会慰労会	新横浜国際ホテルにて	〃	44名
	11月14日(水)	夜間例会	浜太郎にて	〃	32名
	12月19日(水)	クリスマス家族会	ヨコハマプリンスホテルにて	〃	95名
平成3年	1月30日(水)	夜間例会	浜太郎にて	〃	32名
	2月13日(水)	〃	浜新にて	〃	23名
	3月13日(水)	〃	浜太郎にて	〃	28名
	4月10日(水)	夜桜見物	ポートヒル、ヨコハマにて	〃	41名
	5月29日(水)	夜間例会	浜太郎にて	〃	32名
	6月12日(水)	期末懇親会	熱海さくらや	〃	38名

雑誌委員会報告

委員長 名 倉 健 二

副委員長 (赤 柄 忠 昭)

委 員 (三 浦 澄 好) 加 藤 喜 夫

1. ロータリーの友の記事紹介を新会員に担当して頂き、購読意欲の増大につとめた。
2. 雑誌月間では1988年から抜粋収録した興味のある友の記事を紹介した。
3. ロータリーの友への関心をアンケート形式で調べた。

(ア) ヨコ組で最もよく読まれた記事

- ① 地区のたより ② RI会長メッセージ

(イ) タテ組で最もよく読まれた記事

- ① 卓話の泉 ② 巻頭論文

(ウ) 読書時間は30分以上1時間以内が全体の約60%を占めた。

会報委員会報告

委員長 脇 田 幸 一

副委員長 二 宮 浩

委 員 斎 藤 宏 一 金 子 朝 夫 田 中 亮 二

吉 田 篤 正 飯 田 重 雄

1. 平成2年7月4日の第1号から平成3年6月26日まで48号を発刊した。
2. 例会、奉仕活動、その他の活動、行事を記録することを主眼として、その内容、日時、氏名などを漏れなく記載するようにした。
3. ビジュアルなもの、と心がけて写真を多く掲載するようにした。
4. 年度初めに計画した、「会報を会員の意見を発言する場としたい」については、投稿がないこともあって十分実現できなかった。
5. 同じく計画時に考慮した再生紙を使用する件についても、よりきれいな、写真の多い会報をということで実現できなかった。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委 員 長 森 善 助
副委員長 中 林 靖
委 員 代々木 和 男
 " 上 林 正 勝

1. 新会員の推薦に際しての諸条件等について卓話のとき会員に十分説明を行ないスムーズに会員選択ができるようにした。
2. クラブには従来より選考基準なるものが作成されその基準を参考にしております。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委 員 長 土志田 猛
副委員長 山 下 栄 蔵
委 員 田 中 克 己 薮 島 五 郎 三 橋 英 一

ガバナーの要請もあって、本年度は10%（5名）の純増を目標にしたが、果たすことができませんでした。

緑区をテリトリーとするクラブは近々5クラブになる予定ですから、女性会員の入会についても真剣に取り組んでいくことを希望します。

プログラム委員会報告

委員長 日 高 信 良

副委員長 田 中 克 己

委 員 森 実

” 堀 井 基 章

前半「地区大会」、後半「拡大,新クラブ誕生」と二つの大きなテーマに取り組んだ一年でしたが、皆様の一致団結したチームワークのお蔭をもちまして無事今期のプログラムを終了させていただきました。

1990～1991 年度（平成2 年度～3 年度）

水曜日例会

	クラブ・センブリ-		クラブ・センブリ-		クラブ・センブリ-	
月 週	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第一週	4日 新任挨拶 会長・幹事	1日 会員増強について フォーラム 名倉、三沢、土志 田会員による	5日 青少年活動月間 についてフォー ラム 李東熙君、名倉 中林、代々木、 堀井会員による (第3回定例理 事会)	3日 地区大会を 省みて 鶴川ガバナー、 金子幹事 山下委員長 名倉副委員長	7日 ロータリー 財団月間 森(善)委員長 中山まつり 福祉バザー協賛 斎藤社会奉仕 委員長(第5回定 例理事会)	5日 クラブ年次総会 卓話 神々のまつり 国学院大教授 土岐昌訓氏 (第6回定例理 事会)
第二週	11日 新年度計画 四大奉仕委員長 国際大会 参加報告 斎藤会員	8日 国際奉仕委員長 フォーラム 山下、名倉、森 (善) 会員による る	12日 職業報告 長沼会員	10日 休 会	14日 夜間例会 (浜太郎) 卓話 横浜BK 総 合研究所研究員 中林実氏	12日 前半を省みて 四大奉仕委員長
第三週	18日 クラブ奉仕 委員長 (フォーラム)	15日 休 会	19日 地区大会につい て クラブ協議会 三沢、名倉会員 による	17日 夜間例会(新横 浜国際ホテル) 御夫人慰労会 米山奨学委員長 会議に出席して 遠藤委員長(第 4回定例理事会)	21日 ガバナー公式訪 問 青山分区代理 のガバナー紹介 鶴川ガバナー 卓話 クラブ協議会	19日 クリスマス 家族会 磯子プリンス ホテル
第四週	25日 緑区肢体不自由 児 夏季研修旅行 について 斎藤 委員長、三吉会員 (卓話) 緑署の沿 革と現況 佐久間署長	22日 職業奉仕委員長 フォーラム 松田、代々木、会 員による	26日 桐蔭学園於て 地区大会 リハーサル	24日 ローターアクト (フォーラム) 森(実)、渡辺、 横井、斎藤、 代々木会員によ る 炉辺会合 (高嶋会員宅)	28日 職業報告 田中亮二会員	26日 休 会
第五週		29日 夜間例会(浜太 郎) 緑区肢体不自由 児父母の会 研 修旅行を終えて 斎藤会員 職業報 告 堀井会員		31日 違法駐車追放宣 言について 前 迫交通課長(緑 署)		
年間 行事		会員増強月間	青少年活動月間 地区大会	米山月間 職業奉仕月間	ロータリー 財団月間	

横浜緑 RC 年間プログラム表

	クラブ・センゾー-		クラブ・センゾー-		クラブ・センゾー-	
月 週	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第一週	2日 休 会	6日 クラブフォーラム拡大について 近藤会長 (第8回定例理事会)	6日 中近東情勢と自衛隊 後藤純一郎 一等海佐 (第9回定例理事会)	3日 雑誌月間について 名倉委員長 (第10回定例理事会)	1日 クラブ活性化について 幸内副会長 (第11回定例理事会)	5日 職業報告 夏目一夫会員 (新旧合同理事会)
第二週	9日 新年挨拶 会長・幹事	13日 夜間例会 浜新	13日 夜間例会 職業報告 小俣会員	10日 夜間例会 ポートヒル横浜 夜桜見物をかねて	8日 会員選考基準について 森(善)委員長	12日 期末懇親会 熱海さくらや
第三週	16日 R理解推進月間 にちなんで 山下会員	20日 緑ロータリークラブの繁栄を願って 名倉会員	20日 卓話 日本のバレーボール 大沢 NEC 総監督	17日 卓話 緑区内の福祉の実施について 小出昭郎福祉部長	15日 地区協議会報告 幸内次期会長 横井次期幹事 二宮会員	19日 一年を省みて四大奉仕委員長
第四週	23日 職業報告 黒沼、関口会員	27日 職場見学 聖マリアンナ西部病院	27日 職業報告 吉田会員、脇田会員	24日 インターアクトフォーラム 遠藤(一)、横井、代々木会員	22日 職業報告 市ノ瀬会員 松尾会員	26日 今期終了挨拶 会長・幹事
第五週	30日 夜間例会(新年会) 浜太郎				29日 夜間例会 浜太郎	
年間行事	R理解推進月間	R創立記念日 クラブ創立記念日 世界理解月間 IM(第3、4分区)	ポリオプラス月間	雑誌月間	地区協議会	国際大会 2~5

ロータリー情報委員会報告

委員長 代々木 和 男

副委員長 ②内 野 晃

委 員 ③上 林 正 勝

1. 例会時情報交換3分間スピーチはS.A.Aの協力により実行され、その実を上げた。
2. 家庭集会は、地区大会準備、親睦委員会活動と重なって二回にとどまった。(延参加27名)
3. 新会員に選考基準書、ロータリー用語集を配布してロータリー知識の昂揚に努めた。
4. RI関係の情報提供は残念ながら実行出来ずに終わった。

広報委員会報告

委員長 松 田 税

副委員長 遠 藤 一 典

委 員 長 沼 博

” 藪 島 五 郎

当クラブの活動について、地元新聞に掲載し、地域に対して、信頼を高めることを主旨に次なる活動をした。地元新聞は4社程あるが、理解の深い、朝日エコー（区内 9万5千部）、みどり新聞（5万5千部）の2社に活動について、前もって、通知する様にした。

1. 暑中広告、8月1日付、朝日エコー 8月5日付、みどり新聞、○ 年賀広告 1月5日付 朝日エコーに掲載協力した。
2. 11月5日、緑警察署に対して、駐車違反追放宣言を職業奉仕委員会で行なったが、12月5日付みどり新聞、12月5日付朝日エコーで取上げてもらった。
3. 鈴木康生緑区長の要請で、視覚障害のためのダビング機器を当委員で扱い、ボランティア団体である「かもめ」に贈呈した。この時の贈呈式が区長室で行なわれたが、4月25日付朝日エコー、5月5日付みどり新聞で取上げ、可成りのクラブのイメージアップに貢献した。

S. A. A. 報 告

委員長 (折 田 啓一郎)

副委員長 (赤 柄 忠 昭)

委 員 井 上 周 輔 加 藤 喜 夫

折田SAA、赤柄副SAAの途中退会により、入会后日も浅い私達二人が全会員の皆様の御支援を頂きながら、当年度のSAA活動計画の楽しい例会づくり達成に努めて参りました。

1. 3分間スピーチの実施

会員相互の理解と親近感醸成のため「ロータリーに関するスピーチ」を実施致しました。

2. ニガニガの実施

ニコニコを補足し浄財提供の動機を考慮して座をなごやかにすることが出来ました。

3. 各委員が委員会ごとに着席し、各委員会活動支援の一助とすることが実施出来ずSAAの力不足誠に残念でした。

4. 入会祝いに花のプレゼント

新しい友情の始まりであります入会の記念日に花をプレゼントし喜びを共に致しました。

5. 時間の節約と語り易さを考慮して自席での発言をお願いしました。

6. 会場における喫煙について

例外的な措置として友愛コーナーでの喫煙を認めることとして参りましたが、一切禁煙と比べれば良かった面もうかがえましたが禁煙者人口の増加及嫌煙運動等の動きを考え極力自粛をして参りました。

社会奉仕委員会報告

委員長 斎 藤 宏 一

副委員長 土志田 猛

委 員 松 田 税 小 林 敬

本年度一年を省みますと、前半は非常に充実した年、後半は非常に忙しく、混乱の年だった様な気がします。

それでは時を追って簡単に行なった事業について述べようと思います。

1. 平成2年2月22日～23日に緑区肢体不自由児者父母の会の夏期、一泊旅行に参加

参加者 総数87名、内緑ロータリーとしては会員3名、ナース2名、会員家族1名、従業員2名の合計8名でした。

毎年この会が盛大になって行く事に誇りを感じます。どうか次年度はもっと多数のロータリアンの参加者が加わる事をお願い致します。なおロータリアンからの資金援助は20万円位でした。

2. 9月5日 上記事業及びチャリティ・バザーに対し書類を作成し「意義のある業績賞」を259地区ガバナーに対して申請致しました。

幸いこの事が認められ国際ロータリーより259地区で本年度、唯一、賞状が与えられました。

賞状授与は本年5月12日の地区協議会の席でした。

3. 5月25日 赤い羽根募金に協力。一人当たり500円、計25,500円を献金、赤い羽のバッチをいただきました。この件に関しましては皆様が喜んで募金に協力して下さい、なかには5,000円を入れて下さる方など、皆様の御好意には感謝致します。

4. 11月3日なかやま祭りチャリティー・バザーに参加。

例年のバザーは4月に行ないますので、この時は品物の援助と場所の設営を行ないました。

特に渡辺幹事の監督の下に行なわれた場所の設営の手際の良さは目をみはるものがありました。

5. 2月20日 四季の森に長椅子の設置。

かねてから、考えていましたように、このプロジェクトは募金でまかないました。

新年早々から皆様に四季の森にベンチの必要性を訴え一口5,000円にて寄附をお願い致しました。結果、応募人数46名、募金額31万円と多額の寄附をちょうだい致しました。ベンチ3台に要した総費用は28万円弱でしたので、差金はニコニコに募金致しました。

どうぞ四季の森にお出かけの折にはこの椅子をごらん下さい。

ちょっぴり誇りに思われると思います。

なおこのプロジェクトの途中に区よりダビング機器の寄附の要請がありましたが社会奉仕委員会では手が回らず、広報委員会におまかせした事をつけ加えます。

6. 桜の花も散った4月14日、恒例のチャリティー・バザーを行ないました。

バザー売上258,150円 現金寄附60,000万円 特別寄附10,000円 合計328,150円の収入がありました。

この内より肢体不自由児者父母の会へ15万円の寄附、残りは区より要請のあったダビング機器の一部とスマイルに入金致しました。

以上で今年度のプロジェクトは終了いたしました。前半の充実振りに比べ後半は組織の拡大に手をとられ、なにかとせわしない年であった様な気がします。

以 上

青少年委員会報告

委員長 横井 好 明

副委員長 小 杉 隆

委 員 代々木 和 男

” 渡 辺 清

1. 社会活動参加の事前にある教育として、下記の行動を行ないました。

- 平成2年10月15日、桐蔭学園インターアクトに於て、「人生の分かれみち」と題し、学生時代の勉強が社会人になってから、自分の将来に対して、如何に重要な人生コースの基礎となるかを、主張して卓話を行いました。
- 平成2年10月24日、桐蔭学園ローターアクトに於て、「社会に出たら、どんな仕事があるか」と題して自己の特性を省みて、将来の仕事を選択し決めるように、種々の業種についての卓話を行ないました。
- ロータリーの持つ概念に就いて、平成3年1月19日に地域の青少年部と話合を行ないました。

2. 行事への参加

- 平成2年8月4日、メモワールに於ての青少年委員長会に参加
- 平成2年9月5日、青少年フォーラムを実施
- 平成2年9月25日、新横浜ホテル少年野球連盟15周年記念に参加
- 平成2年11月10日、257、277地区の桐蔭学園見学会に参加、地方の事情に就て情報交換
- 平成3年3月5日、つつじが丘小学校スクールゾーン及児童問題の協議に参加
- 平成3年5月19日、エクセレント、ブラザーヨコハマにて、インターアクト役員研修会に参加

インターアクト委員会報告

委員長	遠藤 一 典
副委員長	二 宮 浩
委 員	遠藤 真 作
〃	関 口 将 実

1. 定例会の実施

会員数60名と第259地区インターアクトクラブの中ではもっとも会員が多いが、常時皆出席し、後半は奉仕活動も行なう。ねらいであったロータリアンも皆出席し、理事、各委員長等の卓話もそれぞれのエピソードなどをまじえ、その目的を達した。

2. 主な活動内容

- (1) 第259地区の諸行事における協力活動の実施
- (2) 特別養護老人ホーム「緑の郷」の慰問の実施
- (3) 海外研修（北京市8月21日～25日）への参加
- (4) 第257、277地区インターアクトクラブ顧問教師県外研修の開催（桐蔭学園内、11月10日）参加
- (5) 年次大会への参加、（関東学院高校、三春台）11月25日
- (6) ボランティア学習会（電話お願い手帳の取扱いについて）
- (7) 地域清掃（学園内をふくむ）活動の実施

今期の主な活動は、上記の通りであるが、特筆すべきは、第257、277地区インターアクトクラブ顧問教師及びロータリアンの海外研修で、クラブ会員が埼玉県内のインターアクトクラブの活動について当クラブとの意見交換を行なったこと、また8月に北京市のインターアクトクラブ海外研修に参加し見聞を広めたことや、新しい活動としては、昨年度見学のみであった特老ホーム「緑の郷」への慰問など意欲的に取組んだ。その他、単なる例会に終らず、その都度清掃活動を行なってきたことが特筆される。

ローターアクト委員会報告

委員長	森	実
副委員長	小 林	新 一
委 員	山 下	栄 蔵
”	黒 沼	正 雄
”	脇 田	幸 一
”	関 口	将 実

青少年活動が重視される時代の流れに沿って桐蔭ローターアクトクラブは活発に動いた。特にボランティア活動には定評があり、休日を利用した身障者介護は高い評価を得た。

また同クラブは今年から他クラブとの交流も積極的に進め、活動をより広範囲に活発化する努力をした。

横浜緑ロータリークラブはローターアクト例会に各委員会の委員長をはじめ複数のロータリアンが常に出席するよう要請していたが、目標は半ば達成といったところである。今後もローターアクト例会には各委員長らが積極的に出席し、活動を励ます努力が必要である。

1. ローターアクトの標語に「奉仕を通じての親睦」とあるが一步すすめて、会員の相互啓発により自己研鑽につとめると共に仲間の拡大につとめる。
2. 国際交流活動に目を広げ、協力していく。
3. 研修会、地区大会に積極的に協力していく。

職業奉仕委員会報告

委員長 二宮 浩
副委員長 田中 克己
委員 (好井 良雄)
" 井上 周輔

今年度近藤委員長のもと職業奉仕委員会をおおせつかり、諸先輩に職業奉仕の概念を教わりながら勉強させていただきましたが、いまだ道遠しと言う感です。

さて今年度は平成2年8月22日職業奉仕委員会フォーラムを開催、同9月21日職業奉仕委員長会議が開催され、クラブ全体としての活動の重要性を指摘され、10月31日緑警察署前迫交通課長を御招きして違法駐車追放宣言を行ないました。

さらに平成3年2月27日聖マリアンナ医大横浜西部病院救急救命センターの見学をおこないました。

国際奉仕委員会報告

委員長 小林 新一
副委員長 田沼 文衛
委員 (三浦 澄好)

前半は、国際奉仕委員会フォーラムより、先輩の皆様にはアドバイザーとして委員会活動について参考に成る話をいただきました。(山下、森、名倉)

その話を参考にして、委員会活動をして来ました。

1. 世界社会奉仕部門…

イラン地震

義援金 500円 1990. 8. 8 51名

フィリピン地震

義援金 1,000円 1990. 8. 8 51名

2. 国際親善活動部門…

中国、日本語教師

援助金 500円 1990.8.8 51名

3. 11/4 アメリカ・アイオワ州、597地区より代表者パトリックリード他5名、研究グループ交換視察団が来日。地区歓迎パーティーを11月5日桐蔭学園に於て行なう。又、11月20日研究グループ交換視察団に同行し、午前中横浜市総合リハビリテーションセンターを視察し、昼は多摩ロータリークラブ例会に出席、午後は緑山スタジオを見学し、夜は市ヶ尾あかべこに於て18:00～20:00 会食し、出席者はガバナーをはじめ地区役員の皆様と当クラブの会長・幹事・委員長が出席し、なごやかな一時をすごしました。

G.S.E

分担金 2,000円 1990.8.8 51名

4. ロータリーボランティア活動部門…

ハンセン氏病

援助金 1,000円 1990.8.8 51名

湾岸戦争に伴う難民救済募金

2,000円 1990.5.31 50名

5. クラブ独自事業計画…大韓民国

大邱松林ロータリークラブ

1985年以降中断されていた大邱松林ロータリークラブが横浜緑ロータリークラブに交流を復活させたいとの意向を伝えて来ました。

当緑ロータリークラブは理事会等の結果、現時点では検討中である。

6. 12月19日

当クラブのクリスマスパーティーが磯子のプリンスホテルで行ない、家族と共に東京工業大学、香川先生と留学生を招いて更に国際交流を深め楽しい一夜を過ごす事が出来ました。

(ソビエト、香港、エジプト、タイ、スペイン、その他の国計10名と米山奨学生・リートンヒ夫妻も招いた。)

国際奉仕委員会も会員皆様のご協力により、この一年間が無事に終える事が出来、大変有りがとうございました。

ロータリー財団委員会報告

委員長 (赤 柄 忠 昭)

副委員長 森 善 助

委 員 斎 藤 宏 一

〃 三 橋 英 一

1. ロータリー財団月間を中心に財団への理解と協力を求め特に新会員、準フェロー会員にフェローになって頂くよう努力をした。

現在 フェロー (67) 名

準フェロー (34) 名

1. 会員の目標として15,000以上としてご協力をお願いした。

◎ポールハリスフェロー

現 会 員 (敬称略)

- | | | |
|-----------------|-------------------|-------------|
| 1. 土志田 猛 | 8. 森 善 助 | 15. 渡 辺 宏 未 |
| 2. 遠 藤 真 作 | 9. 名 倉 健 二 | 16. 戴 島 五 郎 |
| 3. 小 林 安 雄 | 10. 中 林 靖 | 17. 矢 島 誠 治 |
| 4. 幸 内 伸 雄 | 11. 岡 本 健 | 18. 山 下 栄 蔵 |
| 5. 近 藤 襲(マルチプル) | 12. 田 沼 文 衛 | 19. 代々木 和 男 |
| 6. 三 沢 君 夫 | 13. 内 野 晃 | |
| 7. 三 橋 英 一 | 14. 鶴 川 昇 (マルチプル) | |

元会員並会員外

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 土志田 昭 吉 殿 | 12. 寺 崎 誠 三 殿 | 23. 中 山 礼 子 殿 |
| 2. 黒 沢 保 殿 | 13. 長 瀬 正 作 殿 | 24. 田 辺 しげ子 殿 |
| 3. 武 藤 勝 典 殿 | 14. 山 口 吉 蔵 殿 | 25. 戸 田 裕 也 殿 |
| 4. 戸 田 修 殿 | 15. 中 山 恒三郎 殿 | 26. 古 谷 英太郎 殿 |
| 5. 岩 本 正 三 殿 | 16. 鈴 木 憲 一 殿 | 27. 中 村 彰 宏 殿 |
| 6. 高 橋 正 文 殿 | 17. 森 玉 江 殿 | 28. 和 田 功 殿 |
| 7. 武 藤 松 一 殿 | 18. 武 藤 純 子 殿 | 29. 城 田 昭 次 殿 |
| 8. 武 藤 義 一 殿 | 19. 岩 崎 董 正 殿 | 30. 赤 柄 忠 昭 殿 |
| 9. 武 藤 泰 典 殿 | 20. 浜 田 勝 弥 殿 | 31. 加 藤 勇 夫 殿 |

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 10. 岩岡 正 殿 | 21. 田辺政雄 殿 | 32. 小林 はま子 殿 |
| 11. 石川 治道 殿 | 22. 富永 力 殿 | 33. 鶴川 楊子 殿 |

◎準フェロー（敬称略）

- | | | |
|----------|-----------------|------------------|
| 1. 遠藤 一典 | 11. 黒沼 正雄 | 21. 高嶋 経保 |
| 2. 日高 信良 | 12. 松田 税 | 22. 田中 克己 |
| 3. 堀井 基章 | 13. 三沢 君夫 (2回目) | 23. 田中 亮二 |
| 4. 飯田 重雄 | 14. 森 実 | 24. 脇田 幸一 |
| 5. 井上周輔 | 15. 森 善助 (2回目) | 25. 渡辺 清 |
| 6. 上林 正勝 | 16. 長沼 博 | 26. 横井 好明 |
| 7. 金子 朝夫 | 17. 二宮 浩 | 27. 代々木 和男 (2回目) |
| 8. 小林 新一 | 18. 斉藤 宏一 | 28. 市瀬 栄一 |
| 9. 小林 敬 | 19. 関口 将実 | |
| 10. 小杉 隆 | 20. 島田 幸夫 | |

会 員 外

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 遠藤 登貴子 殿 | 4. 内野 陽子 殿 |
| 2. 中林 順子 殿 | 5. 山下 百合子 殿 |
| 3. 岡本 トモエ 殿 | |

1990～1991年度R財団

累 計 103,570ドル

内本年度分 3,453ドル

本年度末でポリオプラス終り

ポリオ累計 2,206,500円

一人当 44,000円強（目標 40,000円）

米山奨学委員会報告

委員長 遠藤 真作
副委員長 内野 晃
委員 遠藤 一典

- ① 米山財団に対する認識を深め、財政援助に協力をお願いした
- ② 新会員が多数入会して来たので殆どの人に準会員に入会して戴いた
- ③ 本年度は皆様の協力により良い成績が出たと思います

◎米山功労者

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. 土志田 猛 | 4. 三 沢 君 夫 | 7 内 野 晃 |
| 2. 飯 田 重 男 | 5. 森 善 助 (2口) | 8. 鶴 川 昇 |
| 3. 小 林 安 雄 | 6. 高 嶋 経 保 | 9. 代々木 和 男 |

会 員 外

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 秋 田 茂 殿 | 4. 長 瀬 正 作 殿 | 7. 富 永 力 殿 |
| 2. 岩 岡 正 殿 | 5. 田 辺 政 雄 殿 | 8. 飯 塚 金次郎 殿 |
| 3. 武 藤 松 一 殿 | 6. 和 田 功 殿 | 9. 城 田 昭 次 殿 |

◎米山準功労者

- | | | |
|------------|-------------------|-------------|
| 1. 遠 藤 真 作 | 10. 松 田 税 | 19. 田 中 克 己 |
| 2. 日 高 信 良 | 11. 三 沢 君 夫 (2回目) | 20. 田 沼 文 衛 |
| 3. 上 林 正 勝 | 12. 森 善 助 (3回目) | 21. 渡 辺 宏 未 |
| 4. 金 子 朝 夫 | 13. 名 倉 健 二 | 22. 藪 島 五 郎 |
| 5. 小 林 新 一 | 14. 中 林 靖 | 23. 矢 島 誠 治 |
| 6. 小 林 敬 | 15. 二 宮 浩 | 24. 山 下 栄 蔵 |
| 7. 幸 内 伸 雄 | 16. 岡 本 健 | 25. 横 井 好 明 |
| 8. 近 藤 襄 | 17. 斎 藤 宏 一 | |
| 9. 小 杉 隆 | 18. 島 田 幸 夫 | |

会 員 外

- 1. 小 林 ハマ子 殿

1990～1991年度累計

普	2,337,000円
特	13,296,000円
計	15,633,000円

内本年度	普	180,250円
	特	1,025,000円
	計	1,205,250円

特別寄附のみでも一人当たり2万円以上になりました。

ポリオプラス委員会報告

委員長 田 中 亮 二
副委員長 二 宮 浩
委 員 島 田 幸 夫

昨年度は全会員より年10,000円の御寄附をいただき、ポリオプラス月間においては、雑誌等で会員の御理解を深めていただくよう努力いたしました。

会 計 報 告 書

(1990～1991年度)

平成2年7月～平成3年6月

会 計 佐 藤 英 治

1. 一 般 会 計

[収入の部]

科 目	予 算 額	実 績	差 額
年 会 費	8,420,000	9,885,000	1,465,000
入 会 費	500,000	200,000	△300,000
雑 収 入	10,000	412,599	402,599
繰 越 金	487,468	487,468	0
収 入 合 計	9,417,468	10,985,067	1,567,599

[支出の部]

	科 目	予 算 額	実 績	差 額
本 部 関 係	R C 基 金	309,000	296,459	△12,541
	地 区 分 担 金	867,000	918,200	51,200
	地区大会分担	663,000	711,930	48,930
	I M	255,000	308,000	53,000
	地 区 協 議 会	170,000	150,000	△20,000
	米 山 奨 学	179,000	180,250	1,250
	予 備 費	50,000	50,000	0
	計	2,493,000	2,614,839	121,839
総 務 関 係	例 会 費	250,000	370,784	120,784
	記 念 品	450,000	809,489	359,489
	通 信 費	140,000	124,049	△15,951
	消 耗 費	50,000	185,707	135,707
	印 刷 費	900,000	1,313,520	413,520
	事 務 委 託 費	1,584,000	1,673,000	89,000
	備 品 費	100,000	118,540	18,540
	交 際 費	150,000	190,600	40,600
	雑 誌 文 献 費	200,000	294,499	94,499
	慶 弔 費	70,000	100,450	30,450
	雑 費	50,000	136,480	86,480

科 目		予 算 額	実 績	差 額
	予 備 費	50,000	0	△50,000
	総務費用計	3,994,000	5,317,118	1,323,118
委 員 会 関 係	出 席	10,000	0	△10,000
	職 業 分 類	10,000	0	△10,000
	親 睦	1,000,000	1,152,311	152,311
	雑 誌	10,000	0	△10,000
	会 報	1,100,000	1,205,821	105,821
	会 員 選 考	20,000	0	△20,000
	会 員 増 強	20,000	0	△20,000
	プログラム	300,000	335,000	35,000
	R 情 報	20,000	0	△20,000
	S A A	150,000	130,000	△20,000
	広 報	100,000	82,400	△17,600
	予 備 費	190,468	100,000	△90,468
	事業費計	2,930,468	3,005,532	75,064
	支 出 計 *	9,417,468	10,937,489	1,520,021
一般会計収支				47,578

2. 特 別 会 計 (食 事)

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	実 績	差 額
年 会 費	2,805,000	3,473,000	668,000
ビジター登録料	100,000	120,000	20,000
雑 収 入	10,000	0	△10,000
前 期 繰 越 金	0	0	0
収 入 計	2,915,000	3,593,000	678,000

〔支出の部〕

	予 算 額	実 績	差 額
例 会 食 事 費	2,800,000	3,024,978	224,978
予 備 費	115,000	0	△115,000
支 出 計 *	2,915,000	3,024,978	109,978
特別会計収支			568,022

特 別 会 計 (奉 仕)

[収入の部]

科 目	予 算 額	実 績	差 額
ス マ イ ル	1,500,000	1,577,060	77,060
雑 収 入	10,000	0	△10,000
前 期 繰 越 金	0	0	0
収 入 計	1,510,000	1,577,060	67,060

[支出の部]

科 目	予 算 額	実 績	差 額
職 業 奉 仕	50,000	24,000	△26,000
社 会 奉 仕	300,000	493,108	193,108
青 少 年	80,000	60,000	△20,000
インターアクト	368,000	468,000	100,000
ローターアクト	500,000	318,000	△182,000
国 際 奉 仕	100,000	296,270	196,270
世界社会奉仕	20,000	0	△20,000
予 備 費	92,000	0	△92,000
支 出 計	1,510,000	1,659,378	149,378
特別会計収支			△82,318

本 会 計 収 支

科 目	予 算 額	実 績	差 額
収 入 の 計	13,842,468	16,155,127	2,312,659
支 出 の 計	13,842,468	15,621,845	1,779,377
次期繰越額			533,282

仮 受 金

科 目	前期繰越金	収 入	支 出	残 高
ポ リ オ	60,000	285,000	285,000	0
2 0 周 年	784,235	0	784,235	0
諸 口	61,500	0	61,500	0
米 山	180,000	1,800,000	1,800,000	0
ロータリー寄附	203,100	0	203,100	0
計	1,288,835	2,085,000	3,133,835	0
次期繰越額				0

通 帳 残 高

科 目	収 入	支 出	
前期繰越金			1,776,303
本会計収支	23,292,409	20,876,803	2,415,606
仮受金収支	2,085,000	3,133,835	△1,048,835
月末通帳残高			3,143,074

集 計 表

区 分	収 入		支 出	
一般会計	年 会 費	9,885,000	本 部 関 係	2,614,839
	入 会 金	200,000	総 務 関 係	5,317,118
	雑 収 入	412,599	委員会関係	3,005,532
	繰 越 金	487,468		
	計	10,985,067	計	10,937,489
特別会計	年 会 費	3,473,000	例会食事費	3,024,978
	ビクター登録料	120,000	予 備 費	0
	雑 収 入	0		
	繰 越 金	0		
	計	3,593,000	計	3,024,978
	ス マ イ ル	1,577,060	奉 仕 関 係	1,659,378
	雑 収 入	0		
	繰 越 金	0		
	計	1,577,060	計	1,659,378
	収入合計	16,155,127	支出合計	15,621,845
			次期繰越	533,282

横浜緑ロータリークラブ組織表

1990～1991年度（平成2年～平成3年度）

1. 理 事 近 藤 襄 幸 内 伸 雄 岡 本 健 斎 藤 宏 一
横 井 好 明 二 宮 浩 小 林 新 一
2. 役 員 会 長 近 藤 襄 副 会 長 幸 内 伸 雄
幹 事 渡 辺 宏 未 副 幹 事 田 中 克 己
S A A (折 田 啓 一 郎) 副 S A A (赤 柄 忠 昭) 加 藤 喜 夫
井 上 周 輔
会 計 (佐 藤 英 治) 副 会 計 小 俣 良 一 薮 島 五 郎
佐 川 孝 信 長 沼 博
3. 委 員 会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)
 - (A) クラブ奉仕委員会 (担当理事) 幸 内 伸 雄 土志田 猛
 - (1) 出 席 委 員 会 ◎島 田 幸 夫 ○松 田 税 渡 辺 清
 - (2) 職 業 分 類 委 員 会 ◎田 沼 文 衛 ②岡 本 健 ③小 林 安 雄
 - (3) 親 睦 委 員 会 ◎金 子 朝 夫 ○高 嶋 経 保 長 沼 博 関 口 将 実
井 上 周 輔 渡 辺 清 堀 井 基 章 (好 井 良 雄)
 - 黒 沼 正 雄 加 藤 喜 夫 吉 田 篤 正 飯 田 重 雄
 - (4) 雑 誌 委 員 会 ◎名 倉 健 二 (○赤 柄 忠 昭) (三 浦 澄 好) 加 藤 喜 夫
 - (5) 会 報 委 員 会 ◎脇 田 幸 一 ○二 宮 浩 斎 藤 宏 一 金 子 朝 夫
田 中 亮 二 吉 田 篤 正 飯 田 重 雄
 - (6) 会 員 選 考 委 員 会 ◎森 善 助 ○中 林 靖 代々木 和男 上 林 正 勝
 - (7) 会 員 増 強 委 員 会 ◎土志田 猛 ○山 下 栄 蔵 田 中 克 己 薮 島 五 郎
三 橋 英 一
 - (8) プ ロ グ ラ ム 委 員 会 ◎日 高 信 良 ○田 中 克 己 森 実 堀 井 基 章
 - (9) ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 ◎代々木 和男 ②内 野 晃 ③上 林 正 勝
 - (10) 広 報 委 員 会 ◎松 田 税 ○遠 藤 一 典 薮 島 五 郎 長 沼 博
 - (B) 社会奉仕委員会 (担当理事) ◎斎 藤 宏 一 ○土志田 猛 松 田 税 小 林 敬
 - (C) 青少年奉仕委員会 (担当理事) ◎横 井 好 明 小 杉 隆 代々木 和男 渡 辺 清
 - (1) 青 少 年 委 員 会 ◎小 杉 隆 ○代々木 和男 渡 辺 清
 - (2) インターアクト委員会 ◎遠 藤 一 典 ○二 宮 浩 遠 藤 真 作 関 口 将 実
 - (3) ローターアクト委員会 ◎森 実 ○小 林 新 一 黒 沼 正 雄 山 下 栄 蔵
脇 田 幸 一 関 口 将 実
 - (D) 職業奉仕委員会 (担当理事) ◎二 宮 浩 ○田 中 克 己 (好 井 良 雄) 井 上 周 輔
 - (E) 国際奉仕委員会 (担当理事) ◎小 林 新 一 ○田 沼 文 衛 (三 浦 澄 好)
 - (1) 世界社会奉仕委員会 ◎高 嶋 経 保 ○矢 島 誠 治 小 俣 良 一
 - (2) ローター財団委員会 (◎赤 柄 忠 昭) ○森 善 助 斎 藤 宏 一 三 橋 英 一
 - (3) 米山奨学委員会 ◎遠 藤 真 作 ○内 野 晃 遠 藤 一 典
 - (4) ポリオプラス委員会 ◎田 中 亮 二 ○二 宮 浩 島 田 幸 夫

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ローターリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	21
クラブ旗	1	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナプキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
レコード (ロータリー・ソング)		クラブ小旗 (さお共)	10
ワイヤレス・マイク	3	クラブ印 (角)	1
会員個人別ボックス	2	クラブ会計印	1
書 庫	2	書類棚 (90W × H180)	2
バナー掛 (各クラブのバナー共)	2	冷 蔵 庫	1
バナー立て	13	スマイル・レポート入れ	12
タ ス キ	11	スイス・カウベル	1
パ ネ ル	19	漆谷RCから点鐘台 (大邱松林RC)	1
写 真 機	1	“ 記念楯	1
黒 板	1	RICOPY FT4060	1
アクリル名札板	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正会員 (ACTIVE) 40名

平成2年7月1日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	分 類	業 分 類			
医 術	内 科 医	Physician			
	循 環 器 科 医	Circulatory	上 林 正 勝	横浜総合病院	理事長兼院長
	外 科 医	Surgeon			
	小 児 科 医	Pediatrist			
	産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長
	歯 科 医	Dentist	島 田 幸 夫	島田歯科医院	院 長
	口 腔 外 科 医	Oral Cavity Surgeon	田 中 亮 二	田中歯科医院	院 長
	整 形 外 科 医	Orthopedic Surgeon	二 宮 浩	二宮整形外科	院 長
	耳 鼻 咽 喉 科 医	Ear Nose and Throat Doctor	吉 田 篤 正	吉田医院	院 長
	歯 科 矯 正 医	Dent Orthodontic	加 藤 喜 夫	愛誠歯科医院	院 長
施 設 及 び 病 院	麻 酔 科 医	Anesthetist	夏 目 一 夫	夏目クリニック	院 長
	病 院	Hospital			
	専 門 病 院	Specialty Hospital	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医院	院 長
	高 等 学 校	Senior High School			
教 育	幼 稚 園	Kindergarten			
	私 塾	Private School			
	短 期 大 学	Sumier College	堀 井 基 章	堀井学園	高校短大理事長
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	弁 護 士	Lawyer			
	税 理 士	Tax Service	長 沼 博	長沼博税理事務所	所 長
	経 営 相 談	Business Counseling Service			

職		業		分	類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分			類					
ビジネスサービス	司 法 書 士	Judiciary	Scribner	Service					
	行 政 書 士	Government	Administration	Service					
宗 教	仏 教	Buddhism							
	神 道	Shintoism							
機械及び装置	建 設 機 械	Construction	Machinery						
	履 帯	Caterpillar							
金 属 加 工 業	板 金 工 作	Sheet Metal	Working						
	金 型 製 造	Molds	Mfg						
自 動 車 工 業	自 動 車 販 売	Automobile	Dealers						
	自 動 車 修 理	Automobile	Repairing				小 林 敬	(株)プラザモーター	代表取締役
電気及び電子工業	電 気 工 事	Electric	Construction						
	電 気 器 具 製 造	Electric	Appliance	Mfg					
技 術	測 量	Land	Surveying						
	物 療 科 医	Physical	Therapeutics						
プラスチック工業	ビニール高周波加工	Vinyl	High	Frequency	Processing				
	金 型 製 造	Mold	Mfg						
印刷及び出版	書 籍 販 売	Book	Dist						
	石 油 製 品	Refined	Oil	Products			松 田 税	不動燃料工業(株)	代表取締役社長
鉱 油 工 業	ガ ソ リ ン 販 売	Gasolin	Dist						
	銃 器	Fire	Arms						
通 信 事 業	電 話 事 業	Telephone	Service				(折 田 啓一郎	N.T.T.中山電報電話局	局 長)
	情 報 通 信	Information					横 井 好 明	横井通信工業(株)	代表取締役

関連	職業業		分	種類		会員名	勤務先	役職名
	職	業		分	類			
建設業	建築請負業	建築設計	General Contracting			渡辺宏未	(株)渡辺工務店	代表取締役
	建築設計	建築設計	Architect			井上周輔	誠和技建工業(株)	代表取締役
	木造建築	建築	Wooden Building Construction			小杉隆	太陽建設(株)	代表取締役
	ビル建築	建築	Building Construction			金子朝夫	工藤建設(株)	常務取締役
	土木工事	土木工事	Public Works					
建築材料資材	舗装工事	土木工事	Pavc Construction					
	建築リフォーム	建築リフォーム	Reform Of Building			市瀬栄一	(株)不二建	代表取締役
	建築材料	建築材料	Building Material			黒沼正雄	黒沼木材(株)	代表取締役
	アスファルト製品	建築材料	Asphalt Products					
	生コン配布	建築材料	Concrete Distributing			幸内伸雄	日建輸送(株)	代表取締役
家具及び室内装飾	設備工事	設備工事	Equipment Construction			関口将実	(株)関口金物	専務取締役
	室内装飾用品	室内装飾用品	Upholstering					
	不動産業	不動産業	Real Estate Agency			土志田 猛	(株)岩本不動産商会	代表取締役
	ビル賃貸	ビル賃貸	Building Renting			遠藤 一典	藤パークビル(株)	代表取締役
	貸スタジオ	貸スタジオ	Renting Studio					
輸送	土地賃貸	土地賃貸	Proprietary Renting			斎藤 宏一	斎藤興業開発(株)	取締役社長
	貨物自動車輸送	貨物自動車輸送	Trucking Service					
	旅行幹旋	旅行幹旋	Tourist Agency			(赤)柄忠昭	サン東総業(株)	専務取締役
	衣料	綿製品	Cotton Goods					
	農業及び園芸	農業	Agriculture			渡辺 清		
畜産業	飼料	飼料	Feeds					
	獣医	獣医	Veterinary Surgeon					

関連	職業分類		会員名	勤務先	役職名
	分	種類			
林業	木材販売	Lumber ist	小林新一	小林建設林産(株)	代表取締役
食品	酒精飲料	Alcoholic Beverage			
	食品輸出入	Food Importing & Exporting			
	給食	Supply Of Food	平野六郎	(株)六平	代表取締役
金融	都市銀行	City Banking	小俣良一	太陽神戸三井銀行青葉台支店	支店長
	地方銀行	Local Banking	佐川孝信	横浜銀行中山支店	支店長
	外国為替銀行	Foreign Exchange Banking			
	信用金庫	Credit Banking	(三浦澄好	八千代信用金庫長津田支店	支店長)
印刷及び広告	広告業	Advertisement			
	印刷	Printing	飯田重男	飯田印刷(株)	代表取締役
	看板広告	Advertising Service	高嶋経保	横浜標識(株)	代表取締役
	活版印刷	Letterpress	田中克己	日本ビジネス・フォーム(株)	代表取締役
	新聞	News Paper	森実	日経総合印刷(株)	社長
美容	理容	Barber			
	美容院	Beauty Shop			
	料理店(和食)	Restaurant (Japanese Stayle)	日高信良	(株)オータス(浜太郎)	代表取締役
ホテルリゾート 及レ스토랑	ホテル	Hotel			

シニア・アクチブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元		職	業	分	類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
板	金 工 作		Sheet Metal Working			小 林 安 雄	(株)小富士産業	取締役社長
高	等 学 校		Senior High School			鶴 川 昇	桐蔭学園	
履		帯	Caterpillar			名 倉 健 二	(株)東京リンク製作所	相 談 役
不	動 産 賃 貸		Real Estate Renting			森 善 助		
食	品 材 料 配 布		Foods Material Distributing			田 沼 文 衛	グリーン食品(株)	相 談 役
ポ	ー リ ン グ 場		Bowling			三 澤 君 夫	三澤合資会社	代 表 者
鉄	鋼 建 築 業		Iron Building Industry			(好 井 良 雄	(株)好井鉄工所	代表取締役)
銃		器	Fire Arms			岡 本 健	ミロク機械(株)	代表取締役
建	設 機 械		Construction Machinery			山 下 栄 蔵	山下工業(株)	取締役社長
土	木 工 事		Public Works			三 橋 英 一	三橋建設(株)	取締役社長
外	科 医		Surgeon			内 野 晃	内野医院	院 長
電	気 器 具 製 造		Electric Appliance Mfg			藪 島 五 郎	横浜北工業会	専 務 理 事
建	築 材 料		Building Material			代々木 和 男	(株)代々木商店	取締役社長
ア	ス フ ァ ー ル ト 製 品		Asphalt Products			中 林 靖	日本舗材(株)	取締役会長
設	備 工 事		Equipment Construction			遠 藤 真 作	(株)遠藤製作所	社 長
ビ	ル 賃 貸		Building Renting			矢 島 誠 治	(株)矢島ビルディング	取 締 役

開放 81 充 填 35
未充填 46
シニアアクチブ会員 16

